

# 長谷川ともかず

市政レポート 2024年4月 vol.3

## かわさきほっとらいん



所属委員会：総務委員会・大都市税財政制度調査特別委員会・港湾審議会委員

川崎と共ともに生きる



今年、市制100周年という歴史的な節目を迎えるとともに、次の「あたらしい川崎」の未来に向けて新たな一歩を踏み出す年です。

令和6年第1回定例会が2月13日から3月18日にかけて開催されました。本定例会では、市制100周年記念事業や全国都市緑化かわさきフェアをはじめ、災害への備え・防災に係る取組、社会福祉、及び教育施策など、様々な事業に関する令和6年度の予算審査や、議案審議等が行われました。

今号では、みらい川崎市議会議員団の代表質問、及び予算審査特別委員会での私の質問の概要を報告いたします。

※令和6年度は、総務委員会に所属します。（総務委員会は総務企画局、財政局、経済労働局、臨海部国際戦略本部、危機管理本部等を所管しています）

## みらい川崎市議会議員団の代表質問から

### プレミアムデジタル商品券について（経済労働局）

消費の下支えを図る目的で、既存の電子マネーの仕組みを活用したプレミアムデジタル商品券が、市内在住者を対象に1セット6千円分を5千円で、一人10セットまで販売されます。6月上旬から申込みが始まり、利用期間は7月上旬から12月下旬までの年内の活用が予定されています。

**Q** 販売方法や購入にかかる決済方法、デジタル対応が不慣れな方への対応、利用可能店舗、及び店舗へのキャッシュレス決済導入の促進などについて問う。

**A** 販売は事前申込みの抽選販売とし、具体的な販売・決済方法等の対応は、委託事業者の提案内容による。また、デジタル対応が不慣れな方には、委託事業者が保有する相談機能等を活用し、適切にフォローする。利用店舗は、飲食店、宿泊施設、生活関連サービス、小売店など。新たな事業者の参画について、川崎商工会議所や商業団体等と連携して、幅広く広報を行う。今後、キャッシュレス決済のニーズがさらに広がるが見込まれるため、未対応の店舗に向け様々な機会を通じて働きかけていく。

### こども誰でも通園制度について（こども未来局）

子育ての孤立防止等を目的に、保育所等に通園していない0歳6か月～満3歳未満のこどもを対象として、月10時間までの利用を限度とし、1時間あたり一人300円程度、就労要件を問わず時間単位で誰でも利用できる制度で、6月から開始予定です。



**Q** 本制度では、事前の利用登録、利用受付、利用時間の管理は施設が行うとしているが、一時保育で実施されている面接などがなく、誰でも預けられることから、それに伴うリスクや課題、及び障がい児の受入れ等について、また、利用対象世帯への周知広報への取組について問う。

**A** 利用者が利用を希望する施設に事前登録することを想定しており、その中で利用者に関する様々な情報収集や、施設側の受入れ準備等により、受入れに関する様々なリスクの軽減を図っていく。また、市のホームページや子育てアプリ等による保護者への周知を行いながら、事業の円滑な実施に向け取組を進めている。



# 予算審査特別委員会での「長谷川ともかず」の質問

## 日本PTA全国研究大会川崎大会に期待!! (教育委員会)

**Q** 日本PTA全国研究大会川崎大会が、いよいよ8月23日から二日間にわたり、とどろきアリーナを会場に開催されますが、現在の取組状況、規模や特徴、支援内容等について問う。

詳しくはこちらから!



**A** 本市PTAの歴史の中でも初となる大会。全国から約5,500人の参加が見込まれ、参加者が会場に一堂に会す方式で開催。ITを活用したアクティブラーニングなど先駆的な取組が予定されている。会場までの動線や輸送、通信環境の確保などが課題であるが、引き続き、様々な支援に努めていく。

## 「かわさき多文化共生プラザ」が開設されます! (市民文化局)

**Q** 市南部地域における外国人市民への相談支援体制の充実に向けて、7月から第3庁舎2階に新たに開設される「かわさき多文化共生プラザ」について、機能や役割、今後の展開等について問う。

**A** 外国人市民の生活相談、情報提供・情報発信、通訳翻訳などに加え、地域社会への参加をコーディネートしてつなげることや、多目的な利用を想定したスペースを活用したコミュニティづくりなど、「場」としての機能を持つ拠点づくりとともに、外国人支援ネットワークづくりに向けた支援団体等との連携に取り組む。

## 行政職員の組織整備について

持続可能な質の高い市民サービスを提供するためには、不測の事態や災害時等にも耐えうる職員配置と、弾力性を持たせた組織整備等が必須であると強く求めました。

## 市役所通りでのライトアップについて (建設緑政局)

**Q** 市制100周年を契機に、全国都市緑化かわさきフェア等と連携した取組として、市役所通りのイチョウ並木をライトアップする工事が進められています。ライトアップを採用した理由や効果等について問う。

**A** ライトアップについては、主に葉の無い時期に行われるイルミネーションのように、実施ごとの設置・撤去の必要がないため、事業費の軽減が図られる。また、直接イチョウの木をライトアップすることで、樹木が主役となり、年間を通して、みどりを楽しむための空間演出が期待できるとともに、空間を高質化し、都市イメージの向上やシビックプライドの醸成につながるものと考えている。



## パラスポーツの推進について (市民文化局)

**Q** 8月からパリ2024パラリンピック競技大会が開催されます。パラスポーツの普及促進や競技人口を増やす取組について見解と対応を問う。

**A** パリ大会が開催されることを好機として捉え、パラスポーツの情報を得られやすい環境を整えていく。また、令和5年度に新たに開催したポッチャオープンチャンピオンシップや、かわさき多摩川マラソンにおける車いす部門のさらなる拡充を図るなど、より多くの方がパラスポーツに参加できる環境づくりを進めていく。

## PCB廃棄物の処理促進について

低濃度PCB廃棄物の処分期間が2027(令和9)年3月31日までとなっているので、民間企業を含めて、適正処分に向けて計画的に取組を進めるよう求めました。

## プロフィール



- 1972(昭和47)年生まれ、51歳
- 川崎区大島上町在住
- 妻、長男、長女、次女の5人家族
- 日本大学工学部土木工学科卒業
- 民間企業で15年間、土木・造園工事の現場監督(サラリーマン)
- 川崎市役所で12年間、建設・道路行政に従事(行政マン)

- 2022年8月、川崎市役所を退職し政治家の道を志す
- 2023年4月、市議会議員選挙(川崎区)初当選
- 田島小学校 元PTA会長(9年間)
- 渡田中学校 元PTA会長(3年間)
- 市立川崎高校 元PTA会長(3年間)
- 川崎市高等学校区PTA協議会 元会長
- 渡田こども文化センター運営協議会 会長
- 川崎野球協会 副会長・大師支部 支部長
- 全川崎選抜野球大会実行委員会 委員長

## 資格

- 1級土木施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 測量士、ほか
- ロックンロール
- ゴルフ
- ガーデニング

## 趣味

## 長谷川ともかず事務所

〒210-0834 川崎市川崎区大島 1-23-4 サイトーハイツ 102  
 TEL : 044-280-8824 FAX : 044-280-8834  
 MAIL : hasegawa-tom@an.wakwak.com

各種SNS  
運用中!



X (旧Twitter)



Facebook



LINE